

ポー・カレン語パアン方言の文法情報付きテキスト

加藤昌彦*

1 はじめに	6 語順
2 テキストについて	7 テキスト 1「棒」
3 テキストに付す情報	8 テキスト 2「タマリンドの木」
4 品詞分類	9 テキスト 3「伝染病」
5 音素	10 テキスト 4「なぞなぞ」

1 はじめに

本稿の目的は、ポー・カレン語 (Pwo Karen) パアン方言 (Hpa-an dialect) のテキストに文法情報等を付けて提示することである。

カレン系諸言語は、漢蔵 (Sino-Tibetan) 語族チベット・ビルマ (Tibeto-Burman) 語派に属するとされる言語群で、ビルマ (ミャンマー) およびタイで 300 万から 400 万の人々によって話されている。他のチベット・ビルマ系言語の大部分が SOV を基本語順とするのに対し、カレン諸語の基本語順は SVO であり、この系統の諸言語の中では特異な存在となっている。新谷忠彦の最近の調査によって、カレン系言語には最低でも 30 種類以上、最高では 40 種類近くの言語が存在することが分かってきた (新谷 p.c.)。このうち、最も狭義のカレン語にはスゴー・カレン語 (Sgaw Karen) とポー・カレン語 (Pwo Karen または Pho Karen) のみが含まれる。1993 年のビルマ政府の人口推計によると、カレン人の人口は、ビルマ人 (Burmese) の 2887 万人、シャン人 (Shan) の 398 万人に次いで多い、286 万人である。おそらくこのうちの相当部分はスゴーおよびポーの人口を足した数と見なしてよいと考えられるが、その内訳は統計がないので分からない。なお、日本や欧米では、タイの山岳地帯に住むカレン人の印象が強いためか、カレン人がいわゆる山岳民族と見なされることが多いけれども、少なくともビルマに居住しているカレン人は、平地に住んでいることが多い (加藤 2000 を参照のこと)。

スゴー・カレン語とポー・カレン語は、どちらの言語とも、ビルマおよびタイで話されている。ビルマで話されるポー・カレン語は、イラワジ・デルタ周辺で話される西部方言と、カレン州およびテナセリム管区周辺で話される東部方言に大きく分けることができる。両者は意志疎通がほとんど不可能である。本稿で扱うパアン方言は、東部方言のうちカレン州の州都パアン (Hpa-an; ビルマ語では /phəʔàn/, ポー・カレン語パアン方言では /thəʔàn/) の周辺で話される方言で、この地域における最も主要な言語である。

ポー・カレン語は、Purser and Tun Aung (1922) の辞書等によって、その語彙体系については比較的よく知られている。ところが、文法となると、SVO 型言語であるということ以外、ほとんど知られていないのが実状である。本稿では、加藤 (準備中) に基づいた品詞分類を各語に付し、さらに、重要な文法現象についての注釈を付す。これによって、あまり知られていないポー・カレン語文法的一端を提示したい。

*大阪外国語大学

2 テキストについて

第7節以下に四つの昔話を掲げる。テキスト1「棒」、テキスト2「タマリンドの木」、テキスト3「伝染病」は、2000年11月にパアン市郊外で同一の60歳代男性に語ってもらったもの、テキスト4「なぞなぞ」は、同じく2000年11月にパアン市で50歳代の男性に語ってもらったものである。これらをテープに録音して文字化した。言い間違いのたぐいは、パアン出身のポー・カレン語話者 Saw Hla Chit 氏の助けを得て、修正してある。

3 テキストに付す情報

ポー・カレン語のテキストを次のように示す。

(xx) lì jū
行く;v (試行);vp
‘行って見た。’

▷ jū は動詞助詞の一つ。

この例の「行く」のように、括弧にくくっていない逐語訳は、ポー・カレン語の各単語と類似の意味を持つ日本語である。一方、(試行)のように()でくくったものは、意味的に類似の日本語ではなく、その語が表す意味そのものを日本語で略記したものである。これらの後にセミコロンをはさんで示した v や vp などの略号は、各単語の品詞を示す。‘ ’でくくったのは、文の日本語訳である(ただし複数の文を含むこともある)。文法現象などで注意すべき点があれば、▷ の後に示す。下に記号や略号の一覧を示す。

自立語

n 名詞
v 動詞
a 副詞
i 感嘆詞

助詞

ap 側置助詞
sp 従属節助詞
gp 一般助詞
np 名詞修飾助詞
vp 動詞助詞
av 副助詞
se 文助詞

特殊な名詞

nu	数詞
nc	助数名詞
Ln	場所名詞
an	側置名詞
1sg, 2sg, 3sg	単数人称代名詞第一形 (主に主語形・所有形として使われる)
1SG, 2SG, 3SG	単数人称代名詞第二形 (主に目的語形として使われる)
1se, 2se, 3se	単数人称代名詞強勢形
1pl, 2pl, 3pl	複数人称代名詞第一形 (主に主語形・所有形として使われる)
1PL, 2PL, 3PL	複数人称代名詞第二形 (主に目的語形として使われる)
1pe, 2pe, 3pe	複数人称代名詞強勢形
CH _ə	不特定のものを指す代名詞

イントネーション

- (↑) 急激な上昇調
- (↗) 緩慢な上昇調

文の構造に関わるもの

	節の境界
↔	これ以降が付け足し (afterthought) であることを表す
< >	統語構造に直接関わらない感嘆詞などの要素
[_R]	関係節
[_C]	補文
[](v1)	連結型動詞連続を構成する最初の動詞複合体
[](v2)	連結型動詞連続を構成する二番目の動詞複合体
[](V1)	分離型動詞連続を構成する最初の動詞複合体
[](V2)	分離型動詞連続を構成する二番目の動詞複合体

() 中の略記された意味

(意外): 意外性。; (婉曲): 婉曲、断定の回避。; (遠方): 距離の遠さ。; (引寄): 対象物を引き寄せることあるいは携帯すること。; (過去): 過去の時点。; (下方): 下方向への移動。; (外方): 外方向への移動。; (学習): 動詞の表す動作によって学ぶことまたは教えること。; (完): 完了 (perfect) と完結 (perfective) をあわせたような、助詞 *jàu* の表す意味。; (願望): 願望、希望。; (完成): 事態の末端への到着。; (疑): 疑問。; (逆): 逆向き。; (強意): 強意、強調。; (強調): 強調、目立たせ。; (具): 道具や同伴者。; (繋): コピュラ動詞 *mwē* の表す意味。; (継起): 「～して (... する)」意。; (再帰): 再帰、行為者そのものに対する動作。; (催促): 動作を行うよう促すこと。; (再度): 動作を再度行うこと。「また～する」。; (試行): 試行。「～してみる」。; (条件): 条件や仮定。; (上方): 上方向への移動。; (先行): 「先に～する」意。; (相互): 相互的な動作。; (題): 主題。; (対比): 対比、対照。; (断定): 断定。; (使役): 使役。; (追加): 動作の追加。「(... した後に) 今度は～する」; (徹底): 徹底して行うこと。「～してしまう」。; (当為): 当為、義務。; (努力): 努力、苦勞。; (内方): 内方向への移動。; (場): 場所・起点・着点など。; (否): 否定。;

(備え): 何らかの事態に備えて結果を保持すること。「～しておく」; (非現): 非現実法; (比定): 「～のように」の意; (複): 複数; (不抗): 不可抗力的な状況。「～することになる」; (変化): 状態の変化; (返答): 動作が何かに対する返答であるということ; (保持): 結果の保持。「～しておく」; (無信): 信念や確信を持たずに行うこと; (欲求): 欲求。「～したい」; (臨場): 事態の発生の生き生きとした描写; (類似): 「～も」の意; (列挙): 名詞句の列挙。

4 品詞分類

加藤(準備中)によれば、ポー・カレン語の単語は以下に掲げる 5 品詞に分類できる。

- 名詞 (noun)
- 動詞 (verb)
- 副詞 (adverb)
- 助詞 (particle)
- 感嘆詞 (interjection)

感嘆詞は文の他の要素と統語的關係を持たない特殊な品詞である。これを除いた残り四つの品詞を区別するためのテストとして、(i) 単独で文を形成することができる、(ii) 動詞助詞をつけることができる、(iii) 動詞の項になることができる、の三つを設定する。これらの基準に合致するかどうかを yes/no で示すと次のとおりである。

	(i)	(ii)	(iii)
名詞	yes	no	yes
動詞	yes	yes	yes
副詞	yes	no	no
助詞	no	no	no

このうち、助詞はさらに 7 種類に分類することができる。加藤(準備中)では助詞を分類する基準として次の二つを用いている。

- (1) 文中に何らかの統語的単位を導入するか。
- (2) どのような単位に付くのか。

この二つの基準により、従属節助詞、側置助詞、一般助詞、名詞修飾助詞、動詞助詞、副助詞、文末助詞という 7 種類の助詞を設定できる。次の表に示すとおりである。

何らかの統語的単位を導入する機能を持つもの	
助詞の種類	何に付くか?
• 側置助詞 (adpositional particle)	名詞句
• 従属節助詞 (subordinate clause particle)	節

何らかの統語的単位を導入する機能を持たないもの

助詞の種類	何に付くか?
● 一般助詞 (general particle)	補語, 従属節など様々
● 名詞修飾助詞 (noun modifying particle)	名詞句
● 動詞助詞 (verb particle)	動詞
● 副助詞 (adverbial particle)	動詞句または述語名詞句
● 文助詞 (sentence particle)	文

5 音素

パアン方言の音素目録を次に示す。

Consonants						Vowels			Tones	
p	θ	t	c	k	ʔ	i	i	u	má	[44]
ph		th	ch	kh		ɪ		ʊ	mā	[22(3)]
b		d				e	ə	o	mà	[11]
			ɕ	x	h	ɛ	a	ɔ	mâ	[51]
				y	ɸ				(mə	atonic)
m		n	ɲ	ŋ	ŋ					
w			j							
			l							
			r							

以下はすべての韻 (rhyme) のリストである。

All rhymes									
i	i	u	ai	aʊ		əN	eɪN	əʊɪN	oʊN
ɪ		ʊ			aN	oN		aɪN	
e	ə	o							
ɛ	a	ɔ							

6 語順

ポー・カレン語の他動詞文における語順は、「行為者を表す名詞句 + 動詞 + 被動者を表す名詞句」となる。すなわち、いわゆる SVO 型の語順をとる。動詞の前や後には様々な動詞助詞 (いわゆる助動詞) が付く。動詞に動詞助詞が付いた全体を「動詞複合体」と呼ぶ。副詞的な要素は「動詞 (+ 被動者を表す名詞句)」の後に置かれる。節における名詞句の役割を示す助詞 (いわゆる側置詞) には、名詞の前に置かれるものと、名詞の両側に置かれるものがある。関係節には名詞句の前に置かれるパターンと名詞句の後に置かれるパターンがある。関係節が動詞一つからなる場合は名詞句の後に置かれることが多い。ポー・カレン語の語順については加藤 (2001a) や Kato (2003a) を参照していただきたい。

7 テキスト1「棒」

- (1) phjāmú cā ?ə- phómú nó
 女;n 老いた;v 3sg 娘;n (題);gp
 dàikhâ dè lùlêin nó
 結婚させる;v (具);ap 詐欺師;n のだ;av
 ‘ある老いた女の娘を [その女が] 詐欺師と結婚させたのだ。’

▷ lùlêin はビルマ語 lùlèin の借用。

- (2) dàikhâ dè lùlêin nótā(↑) |
 結婚させる;v (具);ap 詐欺師;n (継起);sp
 lùlêin nótā cāv dá lé ?ə- lé
 詐欺師;n (題);gp こする;v (保持);vp (強調);np 3sg 棒;n
 nī cúkhó lə- kāv jò
 ほど;ap 腕;n 一;nu 部分;nc この;np
 ‘詐欺師と結婚させたところ、[あるとき] 詐欺師は腕ひとつぶんほどある棒をこすっていた。’

- (3) cāv wè ?ə- lé nó |
 こする;v 強意;vp 3sg 棒;n (継起);sp
 ?əwè lō lú wè ?ə- mēinçā nó
 3sg 語る;v (学習);vp (備え);vp 3sg 姑;n のだ;av
 ‘こうして棒をこすりながら、彼は姑に入れ知恵をしておいた。’

- (4) ?əwè mēinçā nó ?əwè pàké ?ə- mâ
 3se 姑;n (題);gp 3se させる;v 3sg 妻
 ‘姑に、彼は妻のふりをさせた。’

- (5) lé ?ə- mâ nó ?əwè kòkí dá wè
 (強調);np 3sg 妻 (題);gp 3se 置く;v (保持);vp (備え);vp
 lú(↑) dò phòN ?ò
 (場);ap 部屋;n 中;Ln (遠方);np
 ‘妻には、部屋の中にいさせた。’

- (6) cāv dá lé nótā(↑) |
 なでる;v (保持);vp 棒;v (継起);sp
 cəxwà phókhwâ [lì](v1) [dá](v2) phō
 王;n 息子;n 行く;v 見る;v (臨場);av
 ‘棒をなでていると、そのとき、王の息子が通りかかってそれを見た。’

▷ 動詞連続には連結型動詞連続 (動詞複合体の連続) と分離型動詞連続 (動詞句の連続) がある。加藤 (1998) を参照されたい。

- (7) “nə- mō mà chələ ↔
 2sg (非現);vp する;v 何;n

nə- lé jò”
2sg 棒;n この;np

bōkənè
ということだ;se

‘「お前は何をしようとしているのだ、その棒は」と言った。’

(8) “lé jò” l̀ wè
棒;n この;np 語る;v 強意;vp

“phlòuN θà cā θí
人;n 年齢;n 老いた;v (類似);gp

[dú](v1) [bāN ɸàN](v2) θà ké(↗)”
殴る;v 若い;v (変化);vp 年;n 可能な;v

‘「この棒は」彼は答えた。「老いた人も、殴ると若くすることができる」’

(9) ?ə- mènçāmú ń ?əwè pàké ?ə- mâ
3sg 姑;n (題);gp 3se させる;v 3sg 妻;n

‘姑には妻のふりをさせた。’

(10) ?ə- mâ mōmō ń kòkí wè l̀ú d̀ phəN ?ə
3sg 妻;n 本当の;v (題);gp 置く;v (強意);vp (場);ap 部屋;n 中;Ln あの;np

‘本当の妻は部屋の中にかくれさせていた。’

(11) ?əwè thəu ɸāN jāN
3se 出す;v (外方);av 知恵;n

‘彼は悪知恵をしぼったわけだ。’

(12) lānthéwáθà ph̄ cəxwà phú ?əméjā ń
つまり;a ちょうど;np 王;n 子供;n 前;Ln (題);gp

?ə- mâ jò ?ə- θà cā(↗) jābò
3sg 妻;n この;np 3sg 年齢;n 老いた;v なのだよ;se

‘つまり、王の息子の前では彼の妻 [らしき人] は年を取っているわけだ。’

(13) “m̄ mwē ɸā” cəxwà phókhwā l̀
(非現);vp (繫);v (疑);se 王;n 息子;n 語る;v

‘「本当か？」王の息子は言った。’

(14) “<?à> mwē nā” l̀ wè
えっ;i (繫);v よ;se 語る;v (強意);vp

‘「えっ?そうですよ」[詐欺師は]言った。’

(15) “mə- mwē ɸā lə- mwē ɸā |
(非現);vp (繫);v (疑);se (否);vp (繫);v (疑);se

nə- dú jū wá ní j̄”
2sg 殴る;v (試行);vp (催促);vp 一度;nu+nc くださいよ;se

‘「本当かどうか、お前一度殴ってみよ」’

▷ ní は、漠然と少ない数を表す語 nān と助数名詞 thí「～回」の融合したもので、「一回、一度」を表す。

- (16) ʔəwê mjòN BÀN nū ʔə- mèinçā thí(↗) lō
3se 引き出す;v (外方);vp (引寄);vp 3sg 姑;vp 一気に;a (断定);av
lō wê
語る;v (強意);vp

‘彼は姑を [部屋の中へ] 一気に引っぱっていったそうだ。’

▷ lō wê は、文字通りには「語った」の意味であるが、文の後に置いて伝聞を表すことがよくある。文助詞に近い働きをしていると言える。ビルマ語の伝聞を表す助詞 /tè/ はポー・カレン語では lō wê で訳される。

- (17) dài cáin làn wái lé yéin khlòUN nó |
(使役);vp 出る;v (下方);vp (徹底);vp (場);ap 家;n 外;Ln (継起);sp
dài klí wái phlòpài
(使役);vp 走る;v (徹底);vp ひたすら;a

‘[そして姑を] 家の外に出てゆかせ、ひたすら逃げさせた。’

▷ dài は使役を表す動詞助詞で、Kato (1999) で TYPE 2 と呼んだ使役構文を作る。例えば「彼にご飯を食べさせる」であれば、語順は dài ʔán ʔəwê mì ([使役]-食べる-彼-ご飯) となる。

- (18) ʔəwê [thàin](v1) [dó](v2) dàin khló lú ʔò
3se 帰る;v 殴る;v (追加);vp ござ;n (場);ap あちら;n
pàupàupàU θ̄N thí |
パンパンと;a 三;nu 回;nc

ʔəwê thàU BÀN nū dàin
3se 出す;v (外方);vp (引寄);vp (再度);vp

“bánkklán jābò”

若い;v なのだよ;se

‘彼はというと [部屋の中に] 戻って向こう側でござをパンパンパンと3回たたいた。[それから] 彼は [本当の妻を] 引っぱり出した。[そして] 「ほら若いでしょう」 [と言った。]’

- (19) bánkklán thònnóθò nó |
若い;v そのように;a (継起);sp

<pā> cəxwà phókhwā ʔánkèin xwè tək̀lè lō jābò
なんと;i 王;n 息子;n 頼む;v 買う;v その場で;a (断定);av なのだよ;se

‘そのように若くなったので、なんとまあ、王の息子はその場で [棒を] 買うことを申し出た。’

▷ ʔánkèin は動詞句を目的語として取ることのできる動詞である。「～することを申し出る」ことを表す。この場合は xwè を目的語として取っている。

- (20) chə- cəxwà θà çā BÀN dtùnó
なのだから;se 王;n 年齢;n 老いた;v (変化);vp なのだから;se
‘[父である] 王が年老いているからだ。’

- (21) lànthébaθà
つまり;a

[dɔ́](v1) [bǎn lǎn](v2) ké phòphónó |
叩く;v 若い;v (変化);vp 可能な;v それほど;a

mə- [thǎin](v1) [[dɔ́](v1) [bǎn lǎn](v2)](v2) báθà
(非現);vp 帰る;v 叩く;v 若い;v (変化);vp (欲求);vp

phā nǎn thí jī jābò

父;n 少数;nu 度;nc (婉曲);av なのだよ;se

‘つまり、叩いてそれほど若くできるのなら、[王宮に] 帰ってから父君を叩いて若くしてあげたいと思ったわけだ。’

(22) lùlèin nó lǒ
詐欺師;n (題);gp 語る;v

“kəjǎn jə- ʔánchâ wáθà ʔé”

できれば;a 1sg 売る;v (欲求);vp (否);ap

‘「私としては、売りたいありません」と詐欺師は言った。’

(23) “jə- mâ phjā jò ʔə- θà ʔè cā lán nó |
1sg 妻;n もの;n この;np 3sg 年齢;n (条件);sp 老いた;v (変化);vp (題);gp

jə- lé jò(↑) lǒ ↔ mə- [C jə- mà bǎn bǎn θà]”

1sg 棒;n この;np (断定);av (繫);v 1sg (使役);vp 若い;v (変化);vp 年齢;n

‘「この私の妻が年老いたときには、やはりこの棒によってですから、[妻の] 年齢を若くできるのは」’

▷ コピュラ動詞 mwē (mē あるいは mə- とも発音される) は、後に補文を取って補文内の主張を強調する働きをする。ただしこのような役割を担う mwē の一部はほとんど助詞化している可能性もある。以降、このような働きを示す mwē の後に現れた補文には [C] を付さない。

(24) “<ʔàʔá> nəwédá nó nə- [tǎin](V1)
いや;i 2se (題);gp 2sg 作る;v

[θí(↗)](V2) jǎu” cəxwà phókhwá lǒ

できる;v (完);av 王;n 息子;n 語る;v

“mwē lé jə- phā θà cā(↗) lə- yà jò
(繫);v (強調);np 1sg 父;n 年齢;n 老いた;v 一;nu 人;nc この;np

mwē ʔè bǎn lǎn lā tē nǎn thí”
(繫);v (条件);sp 若い;v (変化);vp (願望);vp 非常に;vp 少数;nu 度;nc

bōkənè

というわけだ;se

‘「いやいや、お前は[棒を] 自分で作れるだろう」王の息子は言った。「私の年老いた父が若くなってくればなあ」’

(25) thònnóθò nó
そのように;a (題);gp

“ʔè mà ʔò | mà(↗) kənè”

(条件);sp 取る;v (条件');sp 取る;v よ;se

‘すると「ほしいなら持っていけばいいよ」[と詐欺師は言った。]’

▷ ?è の取る節の末尾にはしばしば ?ò や bò という形式が置かれる。これを(条件') というグロスで表す。

- (26) “çá lē↔ nə- mə- mà”
いくら;a (疑);se 2sg (非現);vp 取る;v
‘「いくら取るのか？」[王の息子が言った。]’
- (27) “θə̀np̄hāN(↗) l̄s”
三百;nu (断定);av
‘「300 チャットです」’
- (28) thònn̄s̄θò lə- thí nótā
そのように;a 一;nu 度;nc (題);gp
cəxwà phókhwā chē wái cì pjàpjàpjàpjà tà |
王;n 息子;n 精算する;v (徹底);vp 金;n チャリンチャリン;a (継起);sp
cəxwà phókhwā thàin nī wē
王;n 息子;n 帰る;v (引寄;vp) (強意);vp
lú ?ə- nō wən ?ēbò
(場);ap 3sg 宮殿;n 中;Ln のだよ;se
‘こうして、王の息子はチャリンチャリンと金を払って、[棒を] 持って宮殿へと帰っていったのだ。’
▷ chē はビルマ語 /chè/ 「精算する」の借用。
- (29) thàin nī lú nō wən n̄ |
帰る;v (引寄;vp) (場);ap 宮殿;n 中;Ln (継起);sp
?ə- phā kəchā ?áncà “nə- mə- mà chələ <phókhwā>
3sg 父;n 主;n 尋ねる;v 2sg (非現);vp する;v 何;n 息子;n
lé lə- bòn jò ní(↑)nì jò lə- bòn” bōkənè
棒;n 一;nu 本;nc この;np ほど;ap これ;n 一;nu 本;nc というわけだ;se
‘宮殿に帰ると、「何をすつもりか、息子よ。これほどの棒一本で」と父親である主が尋ねたのだ。’
- (30) “lé phjā jò jā <pā> phlòun θà çā θí
棒;n もの;n この;np ね;gp 父;n 人;n 年齢;n 老いた;v (類似);gp
[d̄ó](v1) [b̄án b̄àn](v2) θà ké(↗)”
叩く;v 若い;v (変化);vp 年;v 可能な;v
‘「この棒はね、お父さん、老いた人も叩けば若くなることできるんだ」’
- (31) “<?à> mə- mwē b̄ā <phókhwā>”
おお;i (非現);vp (繫);v (疑);se 息子;n
‘「おお、本当か、息子よ」’
- (32) “mwē <pā>
(繫);v 父;n

jə- dá wá mōmō”
1sg 見える;v (不抗);vp 本当に;a

nóθò jī jābò ↔ ʔəwê lò
このように;a (婉曲);av なのだよ;se 3se 語る;v

‘「本当に、お父さん。確かに見たのですから」かくのごとくだ、彼が言ったのは。’

(33) “ʔəkhōnthò nótā jə- dá mōmō <pā>” lò wê
効能;n (題);gp 1sg 見える;v 本当に;a 父;n 語る;v (強意);vp

‘「効能は私が確かに見たのですから、お父さん」彼は言った。’

(34) “ʔè dá wá wò |” ʔə- phā lò
(条件);sp 見える;v (不抗);vp (条件');sp 3sg 父;n 語る;v

“kèkhó nó bāchānlé(↑) phlòun θà cā nó
明日;n (題);gp 関して;ap 人;n 年齢;n 老いた;v (題);gp

[cáin](v1) [còpā](v2) wá kò(↗) yà dè jābò”

歩く;v 宣伝する;v (催促);vp 毎;nu 人;nc 毎;nu なのだよ;se

‘「見たのなら、」父は言った。「明日、年老いた人に対して、すべての人に歩いて知らせよう
じゃないか」’

▷ còpā はビルマ語 /còpā/ の借用。kò~dè は助数詞を挟み込んで「毎~」「~ごと」を表す。dè(毎'で示す)は省いてもよい。

(35) <pā> thònnóθò nó
ああ;i そのように;a (題);gp

[cáin](v1) [còpā](v2) θèmjà nó |
歩く;v 宣伝する;v 一体全体;av (継起);sp

hə- [lò](V1) [θí](V2) lòn ʔé
1pl 語る;v できる;v もはや;av (否);ap

‘ああ、こうして知らせて歩いたところ、とんでもないことになった。’

(36) bálə̀nə̀nə̀ yê dè núthò
一部;n 来る;v (具);ap 杖;n

‘ある者は杖をついてやってきた。’

(37) bákə̀nə̀nə̀ [yê](v1) [tháɔ](v2) dè láin
一部;n 来る;v 乗る;v (具);ap 車;n

‘ある者は牛車に乗ってやってきた。’

▷ 連結型動詞連続において、移動を表す動詞は常に v1 として現れる。yê tháɔ は「乗って来る」と「乗りに来る」の両方の意を表すことができる。

(38) phlòun θà cā jābò
人;n 年齢;n 老いた;v なのだよ;se

‘そりゃ老人だからね。’

- (39) bán ɓàN wáθà düt
 若い;v (変化);vp (欲求);vp なのだから;se
 ‘若くなりたいだろうよ。’
- (40) dè nóthò ʔó | dè láin ʔó |
 (具);ap 杖;n いる;v (具);ap 車;n いる;v
 ʔó dè chəlɛ̀ kò(↗) mèin kənè
 いる;v (具);ap 何;n 毎;np 種;nc よ;se
 ‘杖で来るのもいれば、牛車で来るのもいる、それこそあらゆる方法でやってきた。’
- (41) thònnóθò nó “kòUN(↗) jàU ɓà”
 そのように;a (題);gp 集まる;v (完);av (疑);se
 ‘そこで「集まったか？」[と王は言った。]’
- (42) “kòUN(↗) jàU”
 集まる;v (完);av
 ‘「集まりました」’
- (43) “ʔè kòUN |” cəxwà l̩
 (条件);sp 集まる;v 王;n 語る;v
 “jə- bá d́ú wī.
 1sg (当為);vp 叩く;v (先行);vp
 jə- d́ú ʔè ʔòN ɓ̩ ʔò |
 1sg 叩く;v (条件);sp 終わる;v (対比);gp (条件');sp
 nəθí d́ú ɓàin θā kò(↗) ʔà dè”
 2pl 叩く;v (追加);vp (再帰);vp 毎;np 人;nc 毎';np
 ‘「集まったなら」王が言った。「私が最初にやる。私が終わったら、お前達がみなやりなさい」’
- (44) chā làn ʔəmèin bê nó θò jābò
 下す;v (下方);vp 命令;n (比定);ap それ;n (比定');ap なのだよ;se
 ‘そのように、命令を下したというわけだ。’
 ▷ chā はビルマ語 /chā/ の借用。ʔəmèin はビルマ語 /ʔəmèin/ の借用。
- (45) thònnóθò nó
 そのように;a (題);gp
 “ʔè kòUN ʔò | jə- mə- d́ú wī x̩”
 (条件);sp 集まる;v (条件');sp 1sg (非現);vp 叩く;v (先行);vp よ;se
 ‘「みな集まったなら、私が最初に叩くぞ」’
- (46) <ɓūjā(↗)bò> ʔələcón nó θà ɓā myā nó |
 何と;i 民衆;n (題);gp 年齢;n 老いた;v 大変;av (継起);sp
 [l̩](v1) θí [θí](v2) ʔé
 語る;v (類似);gp できる;v (否);ap
 ‘まったくもって、一方の民衆達は、そりゃ年老いていたものだから、[来たときの苦労は] 語るに尽くせぬほどだ。’

- (47) bá tháu dè láin
 (当為);vp 乗る;v (具);ap 車;n
 ‘牛車で来たりしなければならぬ。’
- (48) [[ʔê](v1) [cáin](v2)](V1) [thòN](V2) ʔé
 来る;v 歩く;v 着く;v (否);ap
 ‘歩いて来たら来られるわけがない。’
- (49) thòNnóθò lə- thí nó
 そのように;a 一;nu 度;nc (題);gp
 dú ʔó jābò
 叩く;v (対比);gp なのだよ;se
 ‘こうして、[まず王を] 叩くことになったわけだ。’
- (50) ʔə- phú dú cəu pəu pəu pəu θəN thí nó |
 3sg 子供;n 叩く;v (無信);vp バシッバシッバシッ;a 三;nu 度;nc (継起);sp
 cəxwà khwàindàin
 王;n 死ぬ;v
 ‘息子がバシッバシッバシッと3回叩くと、王は息絶えてしまった。’
- (51) phjā [R ʔê dè láin] θè mōkhó
 もの;n 来る;v (具);ap 車;n (複);np さっき;n
 [mà](V1) láin [khlàu](V2) nāN(↑) ʔà ʔé
 取る;v 車;n 暇な;v 少数;nu 人;nc (否);ap
 ‘先ほど牛車で来た老人たちは、誰一人として牛車に乗り込む暇などなかった。’
- (52) [[thàin](v1) [cáin(v2)] dàin](V1) thòN(V2) pìpì
 帰る;v 歩く;v (再度);vp 着く;v 全部;a
 ‘全員、自分の足で帰ることができたそうなの。’

8 テキスト2「タマリンドの木」

- (1) <ké> phjākhwá ʔó lə- ʔà
 さて;i 男;n いる;v 一;nu 人;nc
 ‘さて、男が一人いた。’
- (2) phjākhwá lə- ʔà nó tā(↑)
 男;n 一;nu 人;nc (題);gp
 chə- phàn ʔán | chə- phàn ʔán |
 CHə 明るい;v (変化);vp CHə 明るい;v (変化);vp

jō thán mànklón thàin lòn nó |
見る;v (上方);vp タマリンド;n 枝;n 上;Ln (継起);sp

phjāphû cā bó dá tã |
爺さん;n 老いた;v (題);gp 見える;v (継起);sp

“mē phóthá phjā nó
(繫);v 独身男;n もの;n (題);gp

ʔə- chəpân ʔó mân(↗) jàv” lè wê
3sg 智恵;n ある;v 確かな;v (完);av 語る;v (強意);vp

‘その男は、夜が明けるたびにタマリンドの枝を [思慮深そうに] 見上げていたので、ある年輩の男性がそれを見て、「この独身男が智恵のあるのは確かだ」と言った。’

▷ chə- phàn thán が繰り返されているのは、頻度の高さを示すため。chə- は任意のものを指す代名詞で、気象現象を表す文の主語や、自発的な感情を表す文の主語、不特定多数の行為を表す文の主語などによく使われる。mân はビルマ語 /hmàn/ 「正しい」の借用。

- (3) “dē jə- phómú nó jə- mə- dàikhâ ní”
(具);ap 1sg 娘;n (題);gp 1sg (非現);vp 結婚させる;v 一度;nu+nc
‘わしの娘と結婚させようではないか。’

- (4) léjái ʔəwê dàikhâ wái wê jābò
しばらくして;a 3se 結婚させる;v (徹底);vp (強意);gp なのだよ;se
‘しばらくたって、彼は [その男と娘を] 結婚させた。’

- (5) dàikhâ wê θèyòn nó |
結婚させる;v (強意);gp (継起);sp (題);gp

lé chəphàn phjā phóthá nó
(場);ap 夜明け;n もの;n 独身男;n (題);gp

jō mànklán thàin lòn nó |
見る;v タマリンド;n 枝;n 上;n (継起);sp

mwē nân chəlê chəlê nó θjâ ʔé
(繫);v 知恵;n 何;n 何;n (題);gp 知る;v (否);ap

‘結婚させてからも、夜明けになると独身男はタマリンドの枝を見上げていたので、どのような智恵があるのだろうか [と思った]。’

▷ θjâ ʔé は「～だろうか」「～かしら」という意味を表す。

- (6) phjāphû cā thîn nó
おじいさん;n 老いた;v 思う;v (題);gp

[C mwē ʔə- nân phàdú]
(繫);v 3sg 知恵;n 大きい;v

‘じいさんは [婿が] 智恵者だと思っていた。’

▷ thîn はビルマ語 /thìn/ 「考える」の借用。理由もなくふと考える場合には、この thîn を用いる場合が多い。

(7) léjái phjāphūt cā nó
しばらくして;a おじいさん;n 老いた;v (題);gp

ʔáncà ʔə- má wō
尋ねる;v 3sg 婿;n (臨場);av

‘しばらくして、じいさんは婿に尋ねた。’

(8) “mwē chə̀lê <nān wà> ←
(繫);v 何;n 娘;n 夫;n

chə̀- phàn ʔán | chə̀- phàn ʔán |
CHə̀ 明るい;v (変化);vp CHə̀ 明るい;v (変化);vp

nə- jū mánklón thàin lòn nó”
2sg 見る;v タマリンド;n 枝;n 上;Ln (題);gp

‘娘の夫よ、なぜだ、お前が夜が明けるとタマリンドの枝を見上げるのは?’

(9) <pápàpà> ʔəwé lò wédá mwē cābò
なんとまあ;i 3se 話;v す (強意);gp (繫);v このように;a

‘なんとまあ、婿はこのように答えた。’

(10) “mánklón thàin phjā nó nê
タマリンド;n 枝;n もの;n あの;np ~はね;gp

mwē ʔè tàin càu thón ní |
(繫);v (条件);sp 作る;v (無信);vp コマ;n 一度;nu+nc

mō yánphtù yáyè(ノ)”
(非現);vp 鳴る;v かなり;a

‘あのタマリンドの枝ですがね、もしコマを作ったらずいぶんいい音がするだろうなあ。’

9 テキスト3「伝染病」

(1) <ké> phjāmút cā dè ʔə- wà lə- yà
さて;i 女;n 老いた;v (列挙);np 3sg 夫;n 一;nu 人;nc

dè ʔə- phú lə- yà kənè
(列挙);np 3sg 子供;n 一;nu 人;nc だよ;se

‘さて、中年女とその夫、それからその子供の話だ。’

(2) lò wê dòun təwân wən nó
語る;v (強意);gp 町;n 村;n 中;Ln (題);gp

lò wê chə̀- cáicáu
語る;v (強意);gp CHə̀ 混乱した

‘[あるとき、ある]地方が混乱したそう。’

- (3) chə- bá chəcəu chəchā
CHə ぶつかる;v 病氣;n
‘病氣がはやったのだ。’
- (4) [ʔə](V1) dòn təwān wən [bótun](V2) lən ʔé
いる;v 町;n 村;n 中;Ln 勇気がある;v もはや;av (否);ap
‘もはや[その]地方に住んでいる勇気はない。’
- (5) lə wè “mə- bá cáinyà wái jābò”
語る;v (強意);gp (非現);vp (当為);vp 逃げる;v (徹底);vp なのだよ;se
‘「逃げなければならぬな」と言った。’
- (6) dòn təwān wən nó həməni lə- nì nì
町;n 村;n 中;Ln (題);gp 人間;n 一;nu 日;nc 日;nc
[θi](V1) [xwè](V2) nó | xwè nó jī lə
死ぬ;v 満ちる;v (継起);sp 満ちる;v のだ;av (婉曲);av (断定);av
‘町や村の中では毎日毎日、人が死んであふれて、[死体で]満ちた。’
- (7) ʔəθiwé lə wóthà | thəmən wà nó bānòbānā nó |
3pe 語る;v (相互);vp 夫婦;n (題);gp 同意する;v (継起);sp
lən thəbáthà bón nī chəbáin chəbón |
つまり;a 包む;v (努力);v 荷物;n
cáin(介) yà wái wè lə jābò
逃げる;v (徹底);vp (強意);gp (断定);av なのだよ;se
‘彼らは、そこで、話し合い、夫婦ふたりとも同意したので、結局、荷物をまとめて逃げ出した。’
- (8) cáinyà wái wè nó |
逃げる;v (徹底);vp (強意);gp (継起);sp
cáinyà cəu ləthí lə
逃げる;v (無信);vp ひたすら;a (断定);av
‘逃げ出して、そして、ひたすら逃げ続けた。’
- (9) lən thəbáthà dá dòn təwān nān phlóun ʔé
結局;a 見つける;v 町;n 村;n 少数;nu 個;nc (否);ap
‘結果、町や村はひとつも見つからなかった。’
- (10) θéin phədó məinlathōnklà pìpì lə lə wè
木;n 大きな;v ジャングル;n ばかり;a (断定);av 語る;v (強意);gp
‘大きな木、そしてジャングルばかりだったそう。’
- (11) jáijáirán chó wè ʔə- phú
しばらくすると;a 持ち上げる;v (強意);gp 3sg 子供;n
ké lə ʔé
可能な;v もはや;av (否);ap
‘やがて、子供を抱くことができなくなった。’

(12) phjā ʔəphū́ cā nó
もの;n おじいさん;n 老いた;v (題);gp

chó ʔə- phó lə- ké wá nó |
持ち上げる;v 3sg 子供;n (否);vp 可能な;v (否');vp (継起);sp

ʔə- mâ chó
3sg 妻;n 持ち上げる;v

‘男が子供を抱けないので、妻が抱いた。’

▷ 否定を表す助詞は、主節の場合は ʔé が述語に置かれ、従属節の場合は動詞または動詞句を lə- と bá で挟み込む。bá を(否') というグロスで表す。bá は wá と同発音される。

(13) ʔə- mâ chó yòN nó |
3sg 妻;n 持ち上げる;v (継起);sp (題);gp

ʔəwê chó kədà |
3se 持ち上げる;v (逆);vp

chó kədà dàIN ké lə- ʔé
持ち上げる;v (逆);vp (再度);vp 可能な;v もはや;av (否);ap

‘妻が抱き終わると、彼が再び抱こうとしたが、もはや抱くことはできなかった。’

(14) <ʔūjābò> khlòthō wái pōUN
なんと;i 置いていく;v (徹底);vp (意外);av

‘[そこで] なんと [子供を] 置き去りにした。’

(15) ʔə- mâ lə “phóθá lə- yà b̀àẁ(↗)”
3sg 妻;n 語る;v 子供;n 一;nu 人;nc ~は?;ge

‘妻は言った、「子供はどうするの?」’

(16) “<hà> phóθá.
えっ;i 子供;n

ʔəkwà ʔó ʔé <phl̀òUNm̀tú cā>.
問題;n ある;v (否);ap 女;n 老いた

hə- bá cáIN chəjái.
1pl (当為);vp 歩く;v 遠く;n

m̄wē ǹè d̀è j̀è ʔè ʔó nó |
(繫);v 2SG (列挙);np 1SG (条件);sp いる;v (題);gp

hə- phó ʔó(↗)” ʔəwê lə
1pl 子供;n いる;v 3se 語る;v

‘「子供?問題ないさ、妻よ。我々は遠くまで行かなければならないんだ。お前と俺さえいれば、子供はできるからな」と彼は言った。’

10 テキスト4「なぞなぞ」

- (1) lúdáʔò chəxwà ʔó lə- yà jǎ(↗)
 昔;a 王;n いる;v 一;nu 人;nc なのだよ;se
 ‘昔、王が一人いた。’

▷ 「王」は chəxwà とか cəxwà とか発音される。おそらくシャン語からの借用。cf. ビルマ語 /sòbwá/

- (2) phlòuN cìcò chə nó |
 人;n なぞかけする;v CHə (継起);sp
 ʔəwê [phà](V1) [bá](V2) pípi
 3se 当てる;v 当たる;v 全部;a
 ‘人がなぞなぞを出すと、彼はすべて正しく当てることができた。’

- (3) cānbò ʔəwê nó
 だから;a 3se (題);gp
 nèʔán ʔàn θà nóʔò |
 信じる;v (内方);vp (再帰);vp (継起);sp
 thōN ʔə- thikhāN wəN nó
 (場);ap 3sg 国;n 中;Ln (題);gp
 phlòuN [R [cìcò](V1) chə [bá](V2)]
 人;n なぞかけする;v CHə 当たる;v
 ʔè ʔó jū ʔò nó |
 (条件);sp いる;v (婉曲);av (条件');sp (題);gp
 ʔəwê mə- ʔánthà
 3se (非現);vp 賭ける;v
 ‘だから彼は自信があったので、もし彼の国になぞなぞのうまい人間がいるならば、賭けをすることにした。’

- (4) chəxwà nó mə- ʔánthà ləmən
 王;n (題);gp (非現);vp 賭ける;v 千;nu
 ‘王は1000チャット賭ける。’

- (5) phlòuN nó ləphàn lô θí
 人;n (題);gp 百;nu (断定);av (類似);gp
 ʔəwê [ʔánthà](V1) [bóuN](↗)(V2)
 3se 賭ける;v 勇気がある;v
 ‘相手は100チャットだけだが、王は賭けをする勇気がある。’

(6) phjā ʔó lə- yà nó jā
もの;n いる;v 一;nu 人;nc のだ;av なのだよ;se
‘ある男がいた。’

(7) ʔəwē mə- cìcò wáθà chəxwà nó
3se (非現);vp なぞかけする;v (欲求);vp 王;n (題);gp
nàN ní
少数;nu 度;nc
‘彼は王になぞなぞを出してみたかった。’

(8) chəxwà nó [cìcò](V1) [bóuN(↗)](V2) wê jābò
王;n (題);gp なぞかけする;v 勇気がある;v (強意);gp なのだよ;se
‘王は応じる勇気があった。’

(9) chəxwà nó ləməN θí
王;n (題);gp 千;nu (類似);gp
chəxwà [thəu lán](V1) bóuN(↗)(V2)
王;n 出す;v (外方);vp 勇気がある;v
‘王は1000チャットだが、それでも出す勇気があった。’

(10) phlòuN líú ʔò nó ləphàn lǐ
人;n (場);ap あそこ;n (題);gp 百;nu (断定);av
‘相手はたった100チャットである。’

(11) “<ʔé> ʔè mwē cājò |
さあ;i (条件);sp (繋);v このような;a
lì lán wê líú chəxwà ʔó ʔò jābò”
行く;v (上方);vp (強意);gp (場);ap 王;n ところ;Ln (遠方);np なのだよ;se
lò bāN wê nó jābò
語る;v (完成);vp (強意);gp のだ;av なのだよ;se
‘「さあ、それでは王様のところに行こうではないか」と言った。[そして王のところへと向かった]。’

(12) “lémwēbò <chəxwà>” lǐ wê
このような;a 王;n 語る;v (強意);gp
‘「こういうなぞなぞです、王様」と言った。’

(13) “líú(↑) ʔəwī dáʔò” lò wê “chə- ʔó lə- dù |
(場);ap 以前;n (過去);np 語る;v (強意);gp CHə いる;v 一;nu 匹;nc
ʔə- mī ʔó nī bòn |
3sg 尻尾;n ある;v 二;nu 本;nc
wà ní bòn láu(↗).
震える;v 二;nu 本;nc 両方;np

mwē chənó lē”

(繫);v 何;n (疑);se

‘「昔、」彼は言った「こういう生き物がいました。しっぽが2本あって、2本とも震えている。何でしょう」’

▷ 数詞 ní は助数名詞の前で nī と発音される。しかし、助数名詞の後に「両方、全部」を表す láu が付くと、ní と発音される。また、しばしば ní, nī は nín, nīn と発音される。

(14) <pâ> chəxwà nó [phà](V1) lə- mèn mèn [bá](V2) ?é
ああ;i 王;n (題);gp 当てる;v 一;nu 種類;nc 種類;nc 当たる;v (否);ap
‘ああなんと、王が何かを答えても当たらない。’

(15) [phà(↗)](V1) lə- mèn mèn [bá](V2) ?é
当てる;v 一;nu 種類;nc 種類;nc 当たる;v (否);ap
‘やはり何かを答えても当たらない。’

(16) “mwē dānlāin ɓâ”
(繫);v ヤモリ;n (疑);se
‘「ヤモリか？」’

(17) “mwē ?é”
(繫);v (否);ap
‘「違います」’

(18) “mwē khàɔ ɓâ”
(繫);v オオトカゲ;n (疑);se
‘「オオトカゲか？」’

(19) “mwē ?é”
(繫);v (否);ap
‘「違います」’

(20) “mwē tətè ɓâ”
(繫);v トツケー;n (疑);se
‘「トツケーか？」’

(21) “bá ?é”
当たる (否);ap
‘「間違っています」’

(22) phà(↗) lə- mèn mèn nê
当てる;v 一;nu 種類;nc 種類;nc よ;se
‘[王は]あれこれと答えてみた。’

(23) bá ?é
当たる;v (否);ap
‘当たらない。’

(24) “<ké chəxwà> nə- [phà](V1) [bá](↗)(V2) ɛá”
 さあ; i 王; n 2sg 当てる; v 当たる; v (疑); se
 ‘「さあ王様、当てることはできますか？」’

(25) “[phà](V1) [bá](V2) ?é”
 当てる; v 当たる; v (否); ap
 ‘「当てられない」’

(26) “nə- [phà](V1) lə- [bá](V2) wá ?ò |
 2sg 当てる; v (否); vp 当たる; v (否'); vp (条件); sp

nə- pháichân ləmêN nó
 2sg 金; n 千; nu (題); gp

jə- ?án wái jàv jābò.
 1sg 食う; v (徹底); vp (完); av なのだよ; se

chə- nə- [phà](V1) lə- [bá](V2) dù”
 CHə 2sg 当てる; v (否); vp 当たる; v なのだから; se

‘「王様が当てることができないのなら、王様のお金 1000 チャットは私がいただきます。当てることができなかったわけですから」’

▷ pháichân はビルマ語 pai?shàn の借用。固有の語彙では cì という (元来は「銀」の意味) が、最近はあまり使われないようである。

(27) <ké> chəxwà nó ?áncà nàin ?è jābò
 さて; i 王; n (題); gp 尋ねる; v (返答); vp 3SG なのだよ; se
 ‘さて、王は彼に尋ね返した。’

(28) “<ké> ?è mwē cājòthò |
 さて; i (条件); sp (繫); v このような; a

jè nó jə- [phà](V1) [bá](V2) ?é.
 1SG (題); gp 1sg 当てる; v 当たる; v (否); ap

phà nàin nè ɛó nàN thí dò”
 当てる; v (返答); vp 2SG その; np 少数; nu 度; nc 今度は; gp

‘「さて、この様子では、私は当てることができない。今度はお前が答えを言ってみよ」’

(29) ?əwê ?áncà nàin phjā [R cìcò chə] chā nó |
 3se 尋ねる; v (返答); vp もの; n なぞかけする; v CHə 主; n (題); gp

“jè thí khô jə- [phà](V1) [bá](V2)
 1SG (類似); gp (対比); gp 1sg 当てる; v 当たる; v

ɛó ké ?é jī” ?əwê lò
 (題); gp 可能な; v (否); ap (婉曲); av 3se 語る; v

‘王がなぞなぞを出した男に尋ねると、「私も答えが分からないのです」と言った。’

(30) [phà](V1) lə- [bá](V2) wá ?ò |
 当てる; v (否); vp 当たる; v (否'); vp (条件); sp

chəxwà ʔán nàin wè ʔə- páichân ləphān d̀̀
 王;n 食う;v (返答);vp (強意);gp 3sg 金;n 百;nu 今度は;gp
 ‘答えが出せなかったので、王は彼の金 100 チャットを召し上げた。’

- (31) ʔəwè mjá khwīphān jàu
 3se 儲ける;v 九百;nu (完);av
 ‘[結局] 彼は 900 チャットを儲けた。’

▷ mjá はビルマ語 /myaʔ/ の借用。

文 献

Anonymous

1989 *Pwo Kayin-Myanmar Dictionary*. (Written in christian Pwo Karen script, pp.260)
 Rangoon: Pwo Kayin Baptist Conference.

Duffin, C.H.

1913 *A Manual of the Pwo-Karen Dialect*. Rangoon: American Baptist Mission Press.

Karen (Pwo) Dictionary Compiling Committee (The Open Society Institute’s Burma Project)

199? *Karen (Pwo)-Burmese-English Dictionary*. (pp.287) Bangkok: Karen (Pwo) Dictionary Compiling Committee. (Written in buddhist Pwo Karen script)

加藤昌彦 (Kato, Atsuhiko)

1995 “The phonological systems of three Pwo Karen dialects.” *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 18.1:63-103.

1997 「カレン人とその言語」田村克己・根本敬編『暮らしがわかるアジア読本 ビルマ』 pp.42-49. 東京：河出書房新社。

1998 「ポー・カレン語(東部方言)の動詞連続における主動詞について」『言語研究』113:31-61。

1999 “Two types of causative construction in Pwo Karen (the Eastern dialect).” (In) Shintani Tadahiko (ed) *Linguistic and Anthropological Study on the Shan Culture Area*, pp. 55-93. Tokyo: Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa.

2000 「カレン」『世界民族事典』 pp.188-189. 東京:弘文堂。

2001a 「ポー・カレン語(東部方言)の関係節(Relative clauses in Pwo Karen [Eastern dialect])」『東京大学言語学論集』20:275-300。

2001b 「仏教ポー・カレン文字(Buddhist Pwo Karen script)」『世界文字辞典』 pp.847-851. 東京:三省堂。

2001c 「キリスト教ポー・カレン文字(Christian Pwo Karen script)」『世界文字辞典』 pp.333-337 東京:三省堂。

2003a “Pwo Karen.” (In) Graham Thurgood and Randy LaPolla (eds) *The Sino-Tibetan Languages*, pp.632-648. London and New York: Routledge.

2003b 「カレン系言語の状況」崎山理(編)『消滅の危機に瀕した言語の研究の現状と課題』国立民族学博物館調査報告 39, pp.115-125。

準備中 「ポー・カレン語文法」。

Phillips, Audra

- 1996 "Dialect comparison among the Pwo Karen of Central Thailand." *Proceedings of the Fourth International Symposium on Languages and Linguistics* Vol.III:1122-1162.
- 2000 "West-Central Thailand Pwo Karen phonology." *33rd ICSTLL Papers*:99-110. Bangkok: Ramkhamhaeng University.

Phon Myint

- 1975 *bud-dha bhaa saa pui: ka rang pe caa sa muing: (1851-1970)* (The History of Palm-leaf Inscriptions of Buddhist Pwo Karens: 1851-1970 [in Burmese, pp.306]) Rangoon: Dhabye-Oo Sapedaik.

Purser, W.C.B. and Saya Tun Aung

- 1922 *A Comparative Dictionary of the Pwo-Karen Dialect.* Rangoon: American Baptist Mission Press.